

日本保健物理学会第42回研究発表会プログラム

第1日目 6月26日(木)・午前

A会場

A会場

ポスター会場

開会式 9:30 ~ 9:35

学会賞授与式 9:35 ~ 10:00

特別セッション・前半

10:00 ~ 11:00

座長：飯本武志（東京大）

特別セッション・後半

11:10 ~ 12:10

座長：伴 信彦（大分看科大）

（会議棟A）

【一般の部】P-1 ~ P-46

【学生の部】PG-1 ~ PG-12

発表者は第1日目の午前中にポスターを掲示して下さい。

AS-1 我が国の放射線防護法体系に
内在する政策的諸課題

○中川晴夫（原産協会）

AS-2 セシウムの葉面吸収に及ぼす
化学形態(CsCl およびCsNO₃)
の影響

○塚田祥文・長谷川英尚・川
端一史・高久雄一・久松俊一
（環境研）、築地由貴（青森
日揮プラントック）

AS-3 次世代ガン診断用低エネルギー
領域ガンマ線検出器 CROSS
計画

○中村秀仁（放医研）、江尻
宏泰（阪大/放医研/チェコ工
科大）、北村尚・内堀幸夫・
辻厚至（放医研）、伏見賢一
（徳島大）、裕隆太（広島大）

AS-4 歪む大地はラドンを吐き出す
か？-兵庫県南部地震の場合-

○安岡由美（神戸薬大）、川
田祐介（エディンバラ大）・
長濱裕幸・大森康孝（東北大）、
石川徹夫・床次真司（放医研）、
志野木正樹（神戸薬大）

AS-5 放射線防護体系における年齢
荷重係数導入の可能性：疫学
データに基づく検討

○吉永信治・土居主尚・島田
義也・米原英典（放医研）

AS-6 大気海洋間ラドンフラックス
の観測

○田阪茂樹・松原正也（岐阜
大）、飯田孝夫・大屋紀之（名
古屋大）、井上睦夫・中野佑
介（金沢大）

AS-7 放射性廃棄物処分のセーフテ
ィケースとコミュニケーション
に関する一考察 -英国ドリ
ッグのセーフティケース作成
経緯の事例から-

○杉山大輔・千田太詩（電中
研）、木村浩（東京大）

AS-8 大気中⁷Beをトレーサーとし
た成層圏オゾンの流入評価

○橋崎幸範・田上四郎・山本
重一・藤川和浩・力寿雄・大
久保興弘・岩本真二（福岡保
環研）、小林ちあき（気象庁）

AS-9 ラドン濃度の測定誤差による
肺がんリスクの過小評価の検
討- SIMEX法によるバイアス
補正 -

○土居主尚（放医研）、田栗
正隆（東京大）、床次真司・
小林羊佐・米原英典・吉永信
治（放医研）

AS-10 群馬県上野村における地表ガ
ンマ線レベルについての一考
察

○杉野雅人（群馬健科大）、
谷田部慶憲・岩岡和輝・反町
篤行・床次真司（放医研）

【機器展示会】

（会議棟A）

10:00~18:50

休憩 11:00~11:10 (10分)

引き続きA会場にて特別セッション

投票（沖縄大会かりゆし賞）

投票箱はA会場出入口に設置

第1日目 6月26日(木)・午後

休憩・昼食(弁当と飲物は会場にて販売します) 12:10～(総会)～14:10

日本保健物理学会総会 (A会場) 12:30～14:00

昼食をとりながら議事進行します

休憩・各会場へ移動 14:00～14:10 (10分)

B 会場

ラドン1

14:10 ～ 15:00

座長: 石森 有 (原子力機構)

B-1 Measurements of indoor radon and its progeny in Okinawa prefecture, Japan

○Atsuyuki Sorimachi, Shinji Tokonami, Tetsuo Ishikawa (NIRS), Chutima Kranrod, Supitcha Chantrarayotha (Chulalongkorn Univ.), Mirek Janik (Inst. Nucl. Phys. PAN), Masahide Furukawa (Univ. Ryukyu)

B-2 沖縄県の鍾乳洞内のラドン濃度-玉泉洞および星野洞の結果-

○外間智則・古川雅英(琉球大)、高橋博路・石川徹夫・床次眞司(放医研)

B-3 首都大学東京荒川キャンパス内の地表面からのラドン散逸率の測定

○福土政広・高橋則子(首都大)、細田正洋(放医研)、安岡由美(神戸薬大)、谷田部慶憲・反町篤行・石川徹夫・サファーサラタクマール・床次眞司(放医研)

B-4 関東地方における夏期の大気起源ラドンの影響

○永野勝裕, 児島 紘 (東理大)

休憩 15:00 ～ 15:05

C 会場

放射線影響1

14:10 ～ 15:00

座長: 小嶋光明 (大分看科大)

C-1 低線量率ガンマ線の免疫応答に対する影響のメタアナリシスによる評価

○馬替純二(電中研)、緒方裕光(国立保健医療科学院)

C-2 低線量率ガンマ線の生物応答に関する複数リスク指標の統合

○緒方裕光(国立保健医療科学院)、馬替純二(電中研)

C-3 線量-線量率マップを用いた実験動物の放射線発がんデータの分析

吉田和生・星裕子(電中研)
○松本亜希(JANUS) 酒井一夫(放医研)

C-4 放射線照射マウスの白血病発症過程における造血細胞動態のモデル解析

○伴信彦・甲斐倫明(大分看科大)

休憩 15:00 ～ 15:05

D 会場

医療被曝1

14:10 ～ 15:00

座長: 赤羽恵一(放医研)

D-1 経皮的カテーテル電気焼灼術における被ばく線量の評価-冠動脈インターベンション術との比較-

○瀬口繁信(名古屋第二赤十字病院)、藤井啓輔・青山隆彦・小山修司・川浦稚代(名大)

D-2 64列X線CT装置を用いた成人、小児CT検査における患者被ばく線量評価-4、16列CT装置との比較-

○藤井啓輔(放医研、名大)、青山隆彦・山内(川浦)稚代・小山修司(名大)

D-3 急性脳卒中診断時CT検査における患者被ばく線量の評価

○山内(川浦)稚代(名大)、藤井啓輔(放医研)、山内雅人(愛知医大)、青山隆彦・小山修司(名大)

D-4 CT Dosimeter を利用した医療用X線CT装置の線量測定

○渡辺富雄(東芝電力放射線テクノサービス(株))

休憩 15:00 ～ 15:05

第1日目 6月26日(木)・午後(つづき)

B 会場

ラドン2

15:05 ~ 15:55

座長：安岡由美(神戸薬大)

B-5 エアクリーナを用いたラドン壊変生成物の低減化試験

○岩岡和輝・床次眞司・石川徹夫・米原英典(放医研)

B-6 気中ラドン濃度簡易測定器の開発

○岡光昭・山田純也・下道國(藤田保衛大)、山崎直(原子力機構)、西本昭義(中部電力)、小西敏春(応用光研)、阪本文男(ザグ電子)

B-7 大面積 α 線スペクトル測定装置を用いた放射性エアロゾル粒径分布測定法の開発

○玉木健介・森藤洋輔・森泉純・山澤弘実・飯田孝夫(名大)、北口博司・田所孝広(日立)、

B-8 ラドン標準場を利用した模擬土壌中のラドン実効拡散係数の評価

○谷田部慶憲(千葉大)、反町篤行・床次眞司・石川徹夫・内田滋夫(放医研)

休憩 15:55 ~ 16:00

放射性廃棄物

16:00 ~ 16:50

座長：床次眞司(放医研)

B-9 高レベル放射性廃棄物からのラドンの線量評価

○吉澤勇二(NUMO)、甲斐倫明(大分看科大)、大越実・加藤智子・山口徹治(JAEA)、佐々木隆之(京大)、服部隆利(電中研)、宮崎振一郎(関電)、樋口奈津子(NUMO)、床次眞司・細田正洋・米原英典(放医研)、池田孝夫・中居邦浩・三木崇史(日揮)

C 会場

放射線影響2

15:05 ~ 15:55

座長：馬替純二(電中研)

C-5 潜在的危険性に関する放射性物質と化学物質の比較の試み

○岩井敏・鈴木浩・高木俊治・佐藤理(三菱総研)

C-6 低線量放射線が引き起こすバイスタンダー効果と適応応答の関係の検討

○小嶋光明・江藤紘文・伴信彦・甲斐倫明(大分看科大)

C-7 環境モニタリング用可搬型Kr-85ガスモニタの開発

○外川洋一・佐々木耕一・晴山央一・住谷秀一・瀧田昭久(日本原燃)、市村豊(千代田テクノル) 太田芳登(アロカ)

C-8 最新の原爆データを用いた発がんリスク評価

○甲斐倫明・伴信彦(大分看科大)

休憩 15:55 ~ 16:00

線量評価・標準化1

16:00 ~ 16:50

座長：高田千恵(原子力機構)

C-9 カエルポクセルファントムの開発

○木名瀬栄・斎藤公明(原子力機構)

D 会場

医療被曝2

15:05 ~ 15:55

座長：山内(川浦)稚代(名古屋大)

D-5 CT検査からの臓器線量のImPACT推定値とガラス線量計による実測値の比較

○長谷川隆幸・勝沼泰(東海大学医学部付属病院)、小野孝二(大分県立病院)、甲斐倫明(大分看科大)

D-6 DD Analysisを用いたIVRの入射表面線量の推定

○清堂峰明・高橋正司(県立広島病院)、

D-7 全国調査によるCT診断件数の傾向の推定

○小野孝二(大分県立病院)、吉武貴康(新別府病院)、長谷川隆幸(東海大病院)、赤羽恵一(放医研)、伴信彦・甲斐倫明(大分看科大)

D-8 医療被ばくの線量及びリスク評価における諸線量指標の有用性に関する検討

○赤羽恵一・幸進・藤井啓輔(放医研)、岩井一男(日大歯)、斉藤公明(原子力機構)、西澤かな枝(放医研)

休憩 15:55 ~ 16:00

環境(動態)1

16:00 ~ 16:50

座長：高橋知之(京大炉)

D-9 青森県六ヶ所村における大気、降水中 ^3H 濃度

○柿内秀樹・赤田尚史(環境研)、一戸孝暁・管野邦昭・佐々木利拓(環境研究センター)、久松俊一(環境研)

第1日目 6月26日(木)・午後(つづき)

B 会場

放射性廃棄物(つづき)

B-10 Study of activation depth profile in concrete by high-energy neutrons
○ Mikhail N. Morev, Toshiso Kosako, Takeshi Iimoto, Tatsuhiko Ogawa, Shuichi Komiya, Yuya Koike (Univ. Tokyo)

B-11 CLALISの実証試験(1)—実証試験測定用試料について—
○伊知地猛・上野謙治・山中和夫(東電)、佐々木道也、荻野晴之、服部隆利(電中研)、矢川隆生、佐藤貴、覚野辰哉、内山秀明(東電環境エンジニアリング)

B-12 CLALISの実証試験(2)—測定結果の比較について—
○佐々木道也・荻野晴之・服部隆利(電中研)、伊知地猛・上野謙治・山中和夫(東電)、矢川隆生・佐藤貴・覚野辰哉・内山秀明(東電環境エンジニアリング)

休憩・ポスター会場へ移動
16:50 ~ 17:00 (10分)

C 会場

線量評価・標準化1(つづき)

C-10 IPによる外部被ばく光子の体内深度分布評価
○飯本武志・東 悟史(※現在キャノン)・小池裕也・小佐古敏荘(東大)

C-11 ICRP Publ. 100の人消化管モデルとPubl. 30の胃腸管モデルの動態に関する比較検討
○波戸真治・本間俊充(原子力機構)

C-12 ESR法によるX線照射した黒胡椒の吸収線量評価
○太田雅壽・岡村久一(新潟大・工)

休憩・ポスター会場へ移動
16:50 ~ 17:00 (10分)

D 会場

環境(動態)1(つづき)

D-10 トリチウム測定用大気水蒸気迅速捕集システムを用いた六ヶ所村における高時間分解能大気中HTO濃度の観測
○赤田尚史・柿内秀樹(環境研)、一戸孝暁・菅野邦昭・佐々木利拓(環境研究センター)、久松俊一(環境研)

D-11 六ヶ所再処理工場周辺環境におけるトリチウム濃度の変動
○木村芳伸・五十嵐飛鳥・木村秀樹・齋藤輝夫・庄司博光・大久保英樹・齋藤稔(青森県原子力センター)、住谷秀一(日本原燃)、金泰裕(東北電力)、島茂樹(海洋科学振興財団)

D-12 浜岡原子力発電所周辺における浮遊塵中全 α ・全 β 放射能比について
○鈴木敦雄(静岡県環境放射線監視センター)、飯田孝夫(名古屋大)

休憩・ポスター会場へ移動
16:50 ~ 17:00 (10分)

ポスターセッション(ポスター会場)

前半(17:00 ~ 17:55) 奇数番号のポスター発表

後半(17:55 ~ 18:50) 偶数番号のポスター発表

投票・懇親会場(A会場)へ移動
18:50 ~ 19:00 (10分)

懇親会(A会場)

19:00 ~ 21:00

優秀口頭発表賞(沖縄大会かりゆし賞)ならびに優秀ポスター発表賞の発表・授与

第2日目 6月27日(金)・午前

ポスター会場

9:30～13:30

【機器展示会】

9:30～13:30

A 会場

B 会場

C 会場

環境(動態) 2

9:30 ~ 10:20

座長: 細田正洋(中央医技専)

A-1 沖縄県石垣島における空間ガンマ線線量率と地質・土壌分布との関係

○益田和・向真希・氷上愛・古川雅英(琉球大)

A-2 キナバル山及び周辺地域の自然放射線

○野口邦和(日大)、岡野眞治(放影協)、加藤博(理研)

A-3 1995年阪神淡路大震災域の市街地における空間ガンマ線線量率分布

○向真希・古川雅英(琉球大)、森永速男(兵庫県立大)、床次眞司(放医研)

A-4 冬季雷活動に起因した放射線変動と大気中放射性物質による逃走電子の生成

○鳥居建男・奥山慎一・野崎達夫(原子力機構)、杉田武志(科学システム研)、村木綏(甲南大)

休憩 10:20 ~ 10:25

環境(動態) 3

10:25 ~ 11:15

座長: 阿部琢也(東京大)

A-5 放射性液体廃棄物の長期的多国間放射線影響評価に関する検討

○中野政尚(原子力機構)

ラドン3

9:30 ~ 10:20

座長: 反町篤行(放医研)

B-13 酸性ガス除去プロセスにおけるアミン溶液への²²²Rnの溶解量評価

○村田正雄・森泉純・飯田孝夫(名古屋大)、小島秀蔵・塚本亮介(日揮)

B-14 人形峠周辺のラドン散逸率の季節変動

○石森 有(原子力機構)

B-15 土壌からのアクチノンの逸出に関する研究

○竹中正治、玉川洋一、吉田拓生、西川嗣雄(福井大)

B-16 中国甘粛省における洞窟住居内ラドン濃度の詳細調査

○小林羊佐・石川徹夫(放医研)、Q. Sun(NIRP)、床次眞司・吉永信治・米原英典(放医研)、秋葉澄伯(鹿児島大)

休憩 10:20 ~ 10:25

計測 1

10:25 ~ 11:15

座長: 佐川宏幸(福山大)

B-17 小形可搬型α線マルチ測定装置の開発

○北口博司・田所孝広・海原明久(日立)、飯田孝夫(名古屋大)

現場の保健物理/管理・保全 1

9:30 ~ 10:20

座長: 山西弘城(核融合研)

C-13 自己遮蔽型PETサイクロトロンにおける中性子遮蔽能力の分布測定

○佐瀬卓也・谷井喬・阪間稔・菅田栄一(徳島大)、前田幸志(住重加速器サービス)、佐藤一雄・川口佳彦・三好弘一・西谷弘・前澤博(徳島大)

C-14 MOX施設管理区域境界におけるTLDによる中性子線のモニタリング

○中川貴博・高田千恵(JAEA)、関根伸行(NESI)、高安哲也(常陽産業)、辻村憲雄(JAEA)

C-15 研究用エックス線発生装置の安全取扱いに関する考察

○林恵利子・飯本武志・小池裕也・阿部琢也・廣田昌弘・木村圭志・小佐古敏荘・中西友子(東京大)、紺谷貴之・板倉隆雄(リガク)

C-16 日本原子力研究開発機構における放射線管理に係る基準等の整合について

○植頭康裕・飛田和則・山口武憲・百瀬琢磨・村上博幸・古田定昭・山口恭弘(原子力機構)

休憩 10:20 ~ 10:25

現場の保健物理/管理・保全 2

10:25 ~ 11:05

座長: 鈴木敏和(放医研)

C-17 原子力発電所における汚染工具の化学洗浄

吉田嘉明・木野宮竹志(東電)、○小林宏光・渡辺広綱・根本利晋(東電工業)、村田雅也・長縄浩幸(フルエング)

第2日目 6月27日(金)・午前(つづき)

A 会場

環境(動態)3(つづき)

- A-6 重回帰分析による耕作地土壌における放射性核種の分配係数の推定手法に関する検討
○高橋知之(京大炉)、富田賢一(V. I. C.)、石川奈緒・田上恵子・内田滋夫(放医研)

- A-7 チェルノブイリ I-131 放出データを用いた線量評価および防護措置モデルの検討
○本間俊充(原子力機構)、松原武史(VIC)、木村仁宣・高原省五(原子力機構)

- A-8 環境防護に対する公衆の関心の高さを決める要因の考察
○占部逸正(福山大)

休憩 11:15 ~ 11:25 (10分)

B 会場

計測1(つづき)

- B-18 Development of a Gas Scintillation Proportional Counter
○Luo Zhiping (Tsinghua Univ., China), Ma Jizeng (CIAE, China), Liu Liye (Tsinghua Univ., China), Takeshi Iimoto, Toshiso Kosako (Univ. Tokyo).

- B-19 大線量照射後のイメージングプレートに生じる消去不全放射線像の消去法の開発
○大内浩子(東北大)、近藤泰洋(石巻専修大)

- B-20 イメージングプレートを用いる肺モニタリングの可能性
○廣田昌大(東大)、高田千恵(原子力機構)、佐瀬卓也(徳島大)、伊藤茂樹(名大)、飯本武志・小佐古敏荘(東大)、西澤邦秀(名大)

休憩・A会場へ移動
11:15 ~ 11:25

C 会場

現場/管理・保全2(つづき)

- C-18 イメージングプレートによるプルトニウム試料の画像解析法の開発
○佐川直貴(JAEA)、黒澤重行(IDC)、塩谷聡・鈴木一教・堀越義紀・高崎浩司・水庭春美(JAEA)

- C-19 (講演取消)

- C-20 二次被ばく医療機関向けホールボディーカウンタの開発
○花房龍治・藪谷孝志(富士電機)、大石正雄(静岡県立総合病院)、鈴木敏和(放医研、名大医)

休憩・A会場へ移動
11:05 ~ 11:25

特別講演(A会場)

11:25 ~ 12:10

座長: 小田啓二(日本保健物理学会会長・神戸大学)

演者: 馬場 護(日本放射線安全管理学会 前会長・東北大学)

演題: 放射線安全管理の新しいあり方を求めて

-日本放射線安全管理学会における活動-

第2日目 6月27日(金)・午後

休憩・昼食(弁当と飲物は会場にて販売します) 12:10~13:30

大学等教員協議会(A会場) 12:20~13:20

学友会主催セッション(C会場) 12:20~13:20

協議会ならびに学友会セッションは、いずれも昼食をとりながらの議事進行となります

A 会場

環境(動態) 4

13:30 ~ 14:20

座長: 植崎幸範(福岡保環研)

A-9 滋賀県の環境放射線分布

○細田正洋(中央医技専)、南一幸、山田純也、岡光昭(藤田保健大)、湊進(放地研)、江尻和隆(藤田保健大) 福土政広(首都大院)、下道國(藤田保健大)

A-10 英虞湾堆積環境の²¹⁰Pb 堆積年代測定法による解析

○百島則幸(九州大)、上田祐介(熊本大)、杉原真司(九州大)、山形陽一・国分秀樹(三重県科技振興)

A-11 環境放射能のキノコへの挙動について- キノコの種属と放射能-

○小浦利弘、川畑俊之、中山哲彦(石川県保環セ)

A-12 モニタリングデータ解析による線量率上昇の予測

○藤原健史・飯田孝夫・山澤弘実・森泉純(名古屋大)

休憩 14:20 ~ 14:25

B 会場

計測 2

13:30 ~ 14:20

座長: 吉田忠義(原子力機構)

B-21 軽量中性子サーベイメータ

○布宮智也・山村精仁・石倉剛(富士電機)、中村尚司(東北大学)

B-22 RI 中性子校正場におけるJIS Z4521に準拠した中性子サーベイメータの校正について

○内田芳昭(放計協)、滝光成・三枝純・村山卓・吉澤道夫(JAEA 原科研)

B-23 ボナーボール検出器の測定カウント数の誤差に起因するエネルギースペクトルの誤差評価

○佐川宏幸・占部逸正(福山大)

B-24 プラスチック・シンチレーションファイバーによる $n-\gamma$ 測定

○納富昭弘・杉浦紳之・伊藤哲夫(近畿大)、鳥居建男(原子力機構)、若林源一郎(九州大)、野間宏(アトムテック近大)

休憩 14:20 ~ 14:25

C 会場

線量評価・標準化 2

13:30 ~ 14:20

座長: 小佐古敏荘(東京大)

C-21 臨界事故時における緊急対応計画のための線源条件の検討

○高田千恵・中川貴博・辻村憲雄(JAEA 核サ研)

C-22 ガラスバッジを用いた国際比較試験

○牧大介・坂井達也・寿藤紀道・佐藤典仁・山本幸佳(千代田テクノ)

C-23 Using In Vivo Measurements and Urine Bioassay to Characterize the Absorption of Inhaled ²⁴¹AmO₂ and Evaluate the Probability Distributions of Dose

○Anthony C James (USTUR), Timothy P Lynch (PNNL), Alan Birchall, Matthew L Puncher (HPA-RPD, UK)

C-24 確率分布計算コードを用いた合理的な表面汚染規制免除レベルの導出

○荻野晴之、服部隆利(電中研)

休憩 14:20 ~ 14:25

第2日目 6月27日(金)・午後(つづき)

A 会場

防災・緊急時対応1

14:25 ~ 15:25

座長：山田裕司(放医研)

A-13 尿を用いた迅速なバイオアッセイ手法の開発

○高見実智己(放医研)、田部井健(東京ニュークリア)、白石久二雄・山田裕司(放医研)

A-14 Pu 性状の違いによる鼻スミア濾紙での α 検出効率の差

○福津久美子・山田裕司・栗原治・明石真言(放医研)

A-15 最大加速度で揺れる直前に停止した核反応

○高田純(札幌医科大)

A-16 原子力施設における空間情報システムの構築

○小川喜弘・岩井一朗(近畿大学大学院)

A-17 NBC テロ病院初期対応の検討及び研修の試み

明石真言・○立崎英夫・宮後法博・椎野剛成(放医研)、富永隆子(放医研、現佐賀大)、蜂谷みさを・石原弘(放医研)、田村泰治(放医研、現陸上自衛隊)、梅田諭(放医研)、大友康裕(医科歯科大)、阿南英明(藤沢市民病院)、近藤久禎(日本医大)、中野実(前橋赤十字病院)、吉岡敏治(大阪府立総合医療センター)、黒木由美子(日本中毒情報センター)

休憩 15:25 ~ 15:35

B 会場

計測3

14:25 ~ 15:25

座長：緒方良至(名古屋大)

B-25 放射線の飛来方向が特定可能な γ 線検出器の開発-その3-

○小林祐介、山野俊也(アロカ)、白川芳幸(放医研)

B-26 ガンマ線標準場設定と測定器校正における不確かさの評価

○齋藤真弘・水江敏久・刈谷征洋(ポニー工業)

B-27 Beyond α -spectrometry for actinide determination in human tissues?

○Sergei Y. Tolmachev (USTUR), Michael E. Ketterer (NAU), Dorothy B. Stuit, Anthony C. James (USTUR)

B-28 球型電離箱を用いた ^{125}I シード線源に対する空気カーマ強度の測定

○海野泰裕・黒澤忠弘・佐藤泰(産総研)、山田崇裕・脇谷雄一郎(日本アイソトープ協会)、柚木彰・檜野良穂(産総研)

B-29 高速実験炉「常陽」燃料製造工程における中性子スペクトル測定

○吉田忠義・辻村憲雄・佐川直貴・庄司茂(原子力機構)

休憩 15:25 ~ 15:35

C 会場

線量評価・標準化3

14:25 ~ 15:25

座長：野口邦和(日本大)

C-25 電子式個人線量計の高エネルギー中性子に対する応答(2)

○岩野健介・草野大介・小田啓二・山内知也(神戸大)、布宮智也・安部繁(富士電機)、中村尚司(東北大)

C-26 航空機内での中性子線量評価(1) 実験の概要

○中村尚司(東北大学/放医研)、保田浩志・高田真志・矢島千秋(放医研)、佐藤達彦(原子力機構)

C-27 航空機内での中性子線量評価(2) モデル計算による推定

○佐藤達彦(原子力機構)、保田浩志・矢島千秋・高田真志(放医研)、中村尚司(東北大学/放医研)

C-28 航空機内での中性子線量評価(3) 10MeV以下の中性子の寄与

○矢島千秋・保田浩志・高田真志(放医研)、佐藤達彦(原子力機構)、五家建夫(JAXA)、中村尚司(東北大学/放医研)

C-29 航空機内での中性子線量評価(4) 10MeVを超える中性子の寄与

○保田浩志・高田真志・矢島千秋(放医研)、佐藤達彦(原子力機構)、中村尚司(東北大学/放医研)

休憩 15:15 ~ 15:35

第2日目 6月27日(金)・午後(つづき)

A 会場

防災・緊急時対応2

15:35 ~ 16:35

座長：高田 純 (札幌医科大)

A-18 アルファ核種による汚染患者の初期医療の問題点

○衣笠達也・青木芳朗・古賀佑彦 (原安協)、神 裕 (原燃)

A-19 皮下投与によるウラン創傷汚染モデルラットにおける初期障害とキレート剤CBMIDAの局所療法の効果

○福田 俊・池田瑞代・中村麻利子 (放医研)

A-20 ウランの創傷汚染における汚染深さの相違に伴う初期体内挙動および臓器障害

○池田瑞代・福田俊・中村麻利子 (放医研)

A-21 緊急時におけるバイオアッセイの迅速処理法と有効性の検討

○吉田浩樹 (東京ニュークリアサービス)、福田俊・山田裕司 (放医研)

A-22 吸入摂取事故時の線量評価におけるエアロゾル性状の影響

○山田裕司・福津久美子・栗原治・明石真言 (放医研)

B 会場

計測4

15:35 ~ 16:25

座長：石川徹夫 (放医研)

B-30 トリチウムモニター3

○佐久間洋一 (核融合研)、緒方良至 (名大)。秋山陽一・上松和義・太田雅壽 (新大)、小林和容 (原子力機構)

B-31 日本人体型用均一分散方式肺ファントムの開発 2

○仲野高志・鈴木敏和 (放医研)

B-32 外部被ばく線量評価用ファントム挿入型半導体検出器の開発

○鈴木敏和 (放医研、名大医)、松本雅紀 (放医研)、石倉 剛 (富士電機)

B-33 電子線型加速器 (LINAC) における自然および人工放射性エアロゾルの生成 (2)

— 照射チャンパー実験 —
○山崎敬三、沖雄一 (京大原子炉)、長田直之 (京大院)

C 会場

線量評価・標準化4

15:35 ~ 16:25

座長：杉浦伸之 (近畿大)

C-30 看護学生の「ヒバク」という言葉のとらえ方とイメージ(第2報)

○太田勝正 (名古屋大)

C-31 公衆防護における最適化の線量下限値に関する考察

○服部隆利 (電中研)

C-32 創傷汚染RIの体内動態が静脈注入モデルによって近似できる条件

○石樽信人・池田真理 (名古屋大)

C-33 放射性核種の体内摂り込み時における体内動態

○小佐古敏荘・松本和徳 (東京大)、三村隆士 (中部電力)、杉浦伸之 (近畿大)

閉会式

16:35 ~ 16:40

ポスター発表一覧（一般の部）

- P-1 原子力研究所施設におけるシンチセル法による空気中ラドン-222 の濃度変動
○稲垣昌代・古賀妙子・森嶋彌重・吉岡憲一朗・小林祐貴（近畿大）
- P-2 ニューヨーク大におけるトロン相互比較実験
○石川徹夫・床次眞司・反町篤行・高橋博路（放医研）、Naomi Harley（ニューヨーク大）
- P-3 ラドン散逸係数に及ぼす土壌・岩石試料の幾何学的パラメータの影響評価
○谷田部慶憲（千葉大）、床次眞司・石川徹夫（放医研）
- P-4 International intercomparison of integrating radon detectors at the NIRS radon chamber.
○ M. Janik (NIRS, IFJ PAN Poland), S. Tokonami, A. Sorimachi, N. Kavasi, T. Ishikawa (NIRS), T. Kovacs (UOP, Hungary), C. Kranrod (NIRS, ChU, Thailand)
- P-5 Influence of humidity for Radopot detectors and its application for radon soil gas mapping.
○ M. Janik (NIRS, IFJ PAN Poland), S. Tokonami, Y. Yatabe, H. Takahashi (NIRS)
- P-6 Inspecting radon exhalation and its influencing parameters on Mount Rokko (Kobe)
○N. Kavasi (NIRS), Y. Yasuoka (KPU), M. Hosoda (CCMT), Y. Yatabe, A. Sorimachi, SK. Sahoo, T. Ishikawa, S. Tokonami, S. Uchida (NIRS)
- P-7 鹿児島県垂水市における室内ラドン濃度と空間 γ 線線量率の測定
○反町篤行・床次眞司・石川徹夫・高橋博路（放医研）、古川雅英（琉球大）
- P-8 メソスケール大気動態解析のための大気中放射性核種の高解像度同時観測
○阿部琢也・小池裕也・廣田昌大・飯本武志・小佐古敏荘（東大）、山口芳香（大阪市大）、田中 究（原子力機構）、村田祥全（香川県環境保健センター）、小村和久（金沢大）
- P-9 大気環境動態のトレーサーとしての極低レベル放射性核種の高解像度観測
○山口芳香（大阪市大）、阿部琢也（東京大）、村田祥全（香川県環境保健センター）、田中究（原子力機構）、小村和久（金沢大）
- P-10 日本における河川水中トリチウム濃度レベル
○杉原眞司・広瀬篤志・井上史士・百島則幸（九州大）
- P-11 複雑地形におけるトリチウム大気拡散モデルの開発
○城戸寛子・寺門正人・黒澤直弘・根本誠（V. I. C）
- P-12 ^{13}C ラベルおから給餌後の家畜（ヤギ）からの ^{13}C の排出
○増田毅（環科技研）、平山琢二（琉球大学）、多胡靖宏・中村裕二（環科技研）
- P-13 ^{13}C ロイシン投与後のヒトからの ^{13}C の排出
○相部洋一・増田毅・多胡靖宏・中村裕二（環科技研）
- P-14 車両搭載測定器による沖縄県下の放射線測定
○岡野眞治（理研）、加藤博（理研）、金城義勝（元沖縄衛研）、古川雅英（琉球大）
- P-15 静岡県の環境放射線について
○河村浩史・鈴木敦雄（静岡県環境放射線監視センター）、奥野 健二（静岡大学）
- P-16 インドネシア・スラバヤ近郊の泥噴出被害における泥水の放射線計測
○裕隆太・静間清（広島大）
- P-17 建材に含まれる自然起源放射性核種の濃度 -NORM の実態調査
○岩岡和輝・田部裕章・田上恵子・床次眞司・米原英典（放医研）
- P-18 線量当量標準設定に向けた γ 線放射線場のスペクトル測定
○森下雄一郎・黒澤忠弘・松本健・高田信久・斉藤則生（産総研）
- P-19 中国製タバコに含まれる ^{210}Po 、 ^{210}Pb の放射能濃度及び喫煙による被ばく線量評価
Tibor KOVACS（ハンガリー・パannonia大学）、床次眞司・吉永信治・小林羊佐・石川徹夫（放医研）
- P-20 ベクトル空間に放射線検出器出力が描く閉空間を用いた線量評価の検討
○橋本 周（原子力機構/東大院工）、孫 尚卿・飯本武志・小佐古敏荘（東大院工）

- P-21 ICP-MSによる α -スペクトロメトリー の検出効率決定法の試み
○白石久二雄・栗原 治・新江秀樹・阿山香子 (放医研)
- P-22 エネルギー依存性が極小の中性子線量測定器の開発
○山西弘城 (核融合研)、BHUIYA Sariful Haque (総研大)、宇田達彦 (核融合研)
- P-23 ホールボディカウンタの校正に用いる密封シート線源の作成
○宮本真衣・石博信人・緒方良至・成田憲彦 (名大)、仲野高志 (放医研)
- P-24 ハードウィンドウ β 線検出器の開発②
○山野俊也・原雅樹・皆川栄一 (アロカ)
- P-25 BOMAB ファントムと日本人体型の比較
○榎本宏子・仲野高志・鈴木敏和 (放医研)
- P-26 γ 線スペクトロメータへのマルチチャンネル波高分析レートメータの適用
○齋藤 圭・高嶋秀樹・相馬 丞・江森修一・高田千恵 (原子力機構)
- P-27 含鉛ガラスの ^{18}F に対する放射線遮へい能評価
○津田啓介・福土政広・明上山温・北村秀秋・井上一雅 (首都大)、中谷儀一郎 (日本医療大)、木村純一・澤口政人 (医健エンジ)
- P-28 診療用放射性同位元素使用室の放射能汚染とそのリスク
○山口一郎 (保健医療科学院)
- P-29 指リング測定システムによる一日単位での手指末端部線量測定
宮崎真一・田口玲子・高島房生・高松伸一・森山竜也・大関清 (日本原燃)、○藤原宏伸・大野秀典・松浦正英 (東芝電力放射線テクノサービズ)、戸成博則 (パナソニックコミュニケーションズ)
- P-30 SF_6 ガスを用いたダストモニタの捕集効率試験について
長元裕治・佐藤浩司・○堀田 豊・荒井哲・大関 清・大柿一史・野田喜美雄 (日本原燃)
- P-31 六ヶ所再処理施設のアクティブ試験 (使用済燃料による総合試験) における被ばく管理について (その2)
○田口玲子・高島房生・森山竜也・大柿一史・野田喜美雄 (日本原燃)
- P-32 六ヶ所再処理施設のアクティブ試験 (使用済燃料による総合試験) における放射性気体・液体廃棄物の放出管理について
○江刺家俊介・氣田信一・加納正規・石原紀之・森山竜也・大柿一史・野田喜美雄 (日本原燃)
- P-33 プルトニウム転換技術開発施設における臨界警報装置の更新
○曳沼裕一・眞田幸尚・長谷川市郎 (原子力機構)、金沢信之・川井啓一 (JREC)、百瀬琢磨 (原子力機構)
- P-34 青森県における勤労世帯及び漁業世帯の内部被ばく線量の推定
○大塚良仁・五代儀貴・柿内秀樹・高久雄一・久松俊一 (環境研)
- P-35 高レベル放射性廃棄物の地層処分における放射線防護を検討するための線量試算例
○中居邦浩 (日揮)、甲斐倫明 (大分看護科学大)、大越 実・加藤智子・山口徹治 (JAEA)、佐々木隆之 (京都大)、服部隆利 (電中研)、宮崎振一郎 (関西電力)、吉澤勇二・樋口奈津子 (NUMO)、米原英典 (放医研)、池田孝夫・三木崇史 (日揮)
- P-36 放射性エアロゾル粒径分布測定におけるPu粒子弁別法の開発
○森藤洋輔・玉木健介 (名大)、北口博司・田所孝広 (日立)、山澤弘実・森 泉純・飯田孝夫 (名大)
- P-37 MOX 燃料施設を模擬した減速中性子校正場の概要
○辻村憲雄・吉田忠義・高田千恵 (原子力機構)
- P-38 RFID (電子タグ) の放射性物質管理フィールド試験と耐放射線評価
○水井雅之 (セイコー・イージーアンドジー)、福原隆宏 (アドフューテック)、堀 雅人 (原子力機構)
- P-39 乾燥昆布による放射線教育用線源の製作
○河野孝央 (核融合研)
- P-40 逆同時数法による可搬型甲状腺モニタの基礎特性評価
○金ウンジュ・栗原 治・鈴木敏和 (放医研)

- P-41 浅い創傷を伴うウラン汚染の皮膚障害および初期挙動とキレート剤 CBMIDA の治療効果
○福田 俊・池田瑞代・中村麻利子 (放医研)
- P-42 DTPA による体内金属のキレート効果
○富永隆子(佐賀大学、放医研)、蜂谷みさを(放医研)、田村泰治 (自衛隊中央病院、放医研)、山本哲生 (陸上自衛隊、放医研)、瀧 健治 (佐賀大学)、明石真言(放医研)
- P-43 隣接モニタリングポストでの線量率変動の相関性を利用した降雨時における施設放出寄与の定量化検討
○竹安正則 (原子力機構)、菅井将光 (常陽産業(株))、小沼利光・武石 稔・松浦賢一 (原子力機構)
- P-44 短半減期核種の大気拡散時放射性崩壊を考慮した事故時環境線量評価法の検討
○竹安正則・武石 稔・小沼利光 (原子力機構)
- P-45 Current Status of Nuclear Legislation System in Thailand
○ Apisara CHAROENSRI, Mikhail N. MOREV, Takuya ABE, Yuya KOIKE, Luo ZHIPING, Takeshi IIMOTO, Toshiso KOSAKO (Univ. Tokyo)
- P-46 線量拘束値の規制上の解釈と適用についての一考察
○杉浦紳之 (近畿大)

ポスター発表一覧 (学生の部)

- PG-1 パッシブ型トロン子孫核種濃度測定法の検討
○北條智美 (首都大、放医研)・床次眞司・反町篤行(放医研)、福土政広(首都大)
- PG-2 沖縄県読谷村における屋内ラドン濃度測定の結果
益田 和・○安田悠馬・新垣玲奈・向真希 (琉球大)、高橋博路・反町篤行・床次眞司 (放医研)、古川雅英 (琉球大)
- PG-3 沖縄本島における海洋を考慮した大気中ラドン濃度連続観測 (序報)
○本村 大 (琉球大)、田阪茂樹 (岐阜大)、古川雅英 (琉球大)
- PG-4 広域を対象としたラドン散逸率評価のための衛星情報による土壌水分推定
○謝花達磨・Pham Thi Thuy Hanh・古川雅英 (琉球大)
- PG-5 固体飛跡検出器による中性子応答特性に関する研究
○嶋田和真・阿部琢也・廣田昌大・小池裕也・Mikhail N. Morev・飯本武志・小佐古敏荘 (東大)
- PG-6 打設時の含水率が異なるコンクリート中の中性子束深度分布の解析
○小川達彦・廣田昌大・Mihail N. Morev・阿部琢也・小池裕也・飯本武志・小佐古敏荘 (東大)
- PG-7 CR-39 を用いた放射線治療室内における中性子線量測定
○嶋田智昌 (東大)、福土政広 (首都大)、嶋田和真・小佐古敏荘 (東大)
- PG-8 測定場所に隣接する地質帯を考慮した地表 γ 線線量率測定
○山田純也・岡光昭・下道國 (藤田保健衛生大)
- PG-9 沖縄本島の空間 γ 線線量率と地質・土壌分布との関係
平岡久枝・○井上稔之・棚原 朗 (琉球大)、床次眞司 (放医研)、古川雅英 (琉球大)
- PG-10 八重山層群分布域の空間 γ 線線量率—与那国島・西表島・小浜島の結果—
藤岡小百合・○新垣玲奈・古川雅英 (琉球大)
- PG-11 沖縄県の伊平屋島・伊是名島における空間 γ 線線量率
○川上隆志・井上稔之・安田悠馬・新垣玲奈・古川雅英 (琉球大)
- PG-12 イメージングプレートの低エネルギー光子に対する応答特性
○鈴木ちひろ・廣田昌大・阿部琢也・小池裕也・Mihail N. Morev・飯本武志・小佐古敏荘 (東大)

学友会によるポスター発表

(以下のポスター発表は優秀賞の対象外です)

A. 琉球大学古川研究室 ～ヤーニンジュな研究室～

○新川恭兵・新垣麻理瑛・城間吉貴・深堀賢人 (琉球大学 理学部 物質地球科学科 地学系 海洋地圏科学講座)

B. 神戸大環境応用計測科学研究所の紹介

○岩野健介・研究室一同 (神戸大学大学院 海事科学研究科 海事科学専攻 マリンエンジニアリング講座 環境応用計測科学研究所)

C. 名古屋大学飯田研究室「観測/実験グループ」の研究紹介

○太田雅和・伊藤恒太・森藤洋輔・大屋紀之・村田正雄・玉木健介・守屋耕一 (名古屋大学大学院 工学研究科 エネルギー理工学専攻)

D. 飯田研大気中ラドン輸送グループの研究紹介

○藤原健史・平尾茂一・石田将士・栗原隆志・白井一之 (名古屋大学大学院 工学研究科 エネルギー理工学専攻)

E. 小佐古研究室紹介

○嶋田和真・鈴木ちひろ・小川達彦・嶋田智昌 (東京大学大学院 工学系研究科 小佐古研究室)

F. 小佐古研究室 研究紹介

○嶋田和真・鈴木ちひろ・小川達彦・嶋田智昌 (東京大学大学院 工学系研究科 小佐古研究室)

G. 首都大学東京大学院人間健康科学研究科福士研究室

中谷儀一郎・小林彩子・○津田啓介・北村秀秋・五十嵐 博・山田純也・北条智美・藤森弘貴・大友結子・袴田大介・森 直人・岩下寛志・大橋周平・滝本美咲・谷幸太郎・荻原靖樹 (首都大学東京大学院)

H. ラドンプロジェクトXX - そして伝説へ- (放医研床次研究室)

○谷田部慶憲 (千葉大学大学院 自然科学研究科 地球生命圏科学専攻)、岩岡和輝 (千葉大学大学院 理学研究科 地球生命圏科学専攻)、北條智美 (首都大学東京大学院 人間健康科学研究科)

I. 福井大学 放射線・粒子物理グループ 研究室紹介

○竹中正治 (福井大学大学院 工学研究科 原子力・エネルギー安全工学専攻 西川研究室)、
林 長宏 (福井大学大学院 工学研究科 原子力・エネルギー安全工学専攻 玉川研究室)

J. 『学友会の最近の活動』

○太田雅和 (名古屋大学大学院)、山田純也 (首都大学東京大学院)

K. 『学友会の結成から今に至るまで』

○小川達彦・嶋田和真・鈴木ちひろ (東京大学大学院)